

維新百年記念公園陸上競技場整備基本計画(概要版)

1 はじめに

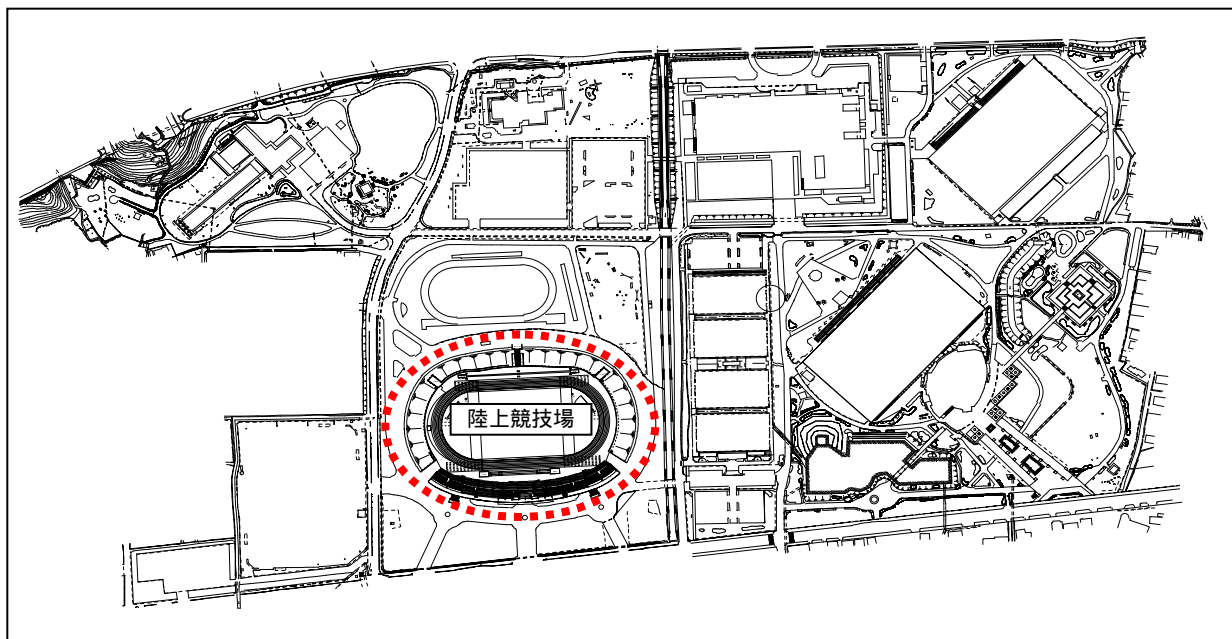
維新百年記念公園は、第18回国民体育大会(昭和38年10月)の主会場となった陸上競技場を中心に、県民のスポーツ・文化活動の拠点としてまたスポーツレクリエーション活動の場として、鋭意整備を推進してきました。

陸上競技場は築後約40数年を経過し、老朽化していること及び平成23年開催予定の山口国体の主会場(開・閉会式)とすることが決定されたこと等により、現在改築に向けた取り組みを進めています。

整備にあたりましては、県内唯一の(財)日本陸上競技連盟第1種公認陸上競技場としてまた国体の主会場として、さらには陸上競技のみならず多目的な競技場として機能充実を図るとともに、広く県民に親しまれる施設となるよう整備を進めます。

2 整備箇所

山口市大字吉敷地内 維新百年記念公園陸上競技場



3 整備方針

(1) 多目的な利用を可能とするスポーツ拠点施設

全国規模の陸上競技大会が開催できるよう、第1種公認陸上競技場として整備を行います。平成23年に開催予定の山口国体の主会場として活用します。

サッカーやラグビー、各種イベント等、多目的な利用を可能とする整備を行います。

大規模なスポーツイベント等の開催を可能とする規模のスタンドや諸室、附属設備の整備を行います。

(2) 誰もが使いやすい競技場

誰もが安心して安全に利用できるよう、スロープやエレベーターの設置等、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行います。

利用しやすいサービスや、分かりやすい情報を提供します。

(3) 地域に根ざした競技場

地震等の被災時に、避難、救護活動の拠点として活用できるよう整備を行います。

公園内の緑や背景の山並みと調和したデザインの導入を図ります。

運動会や各種イベントなどを通じて、交流やコミュニケーションを深める場を提供します。

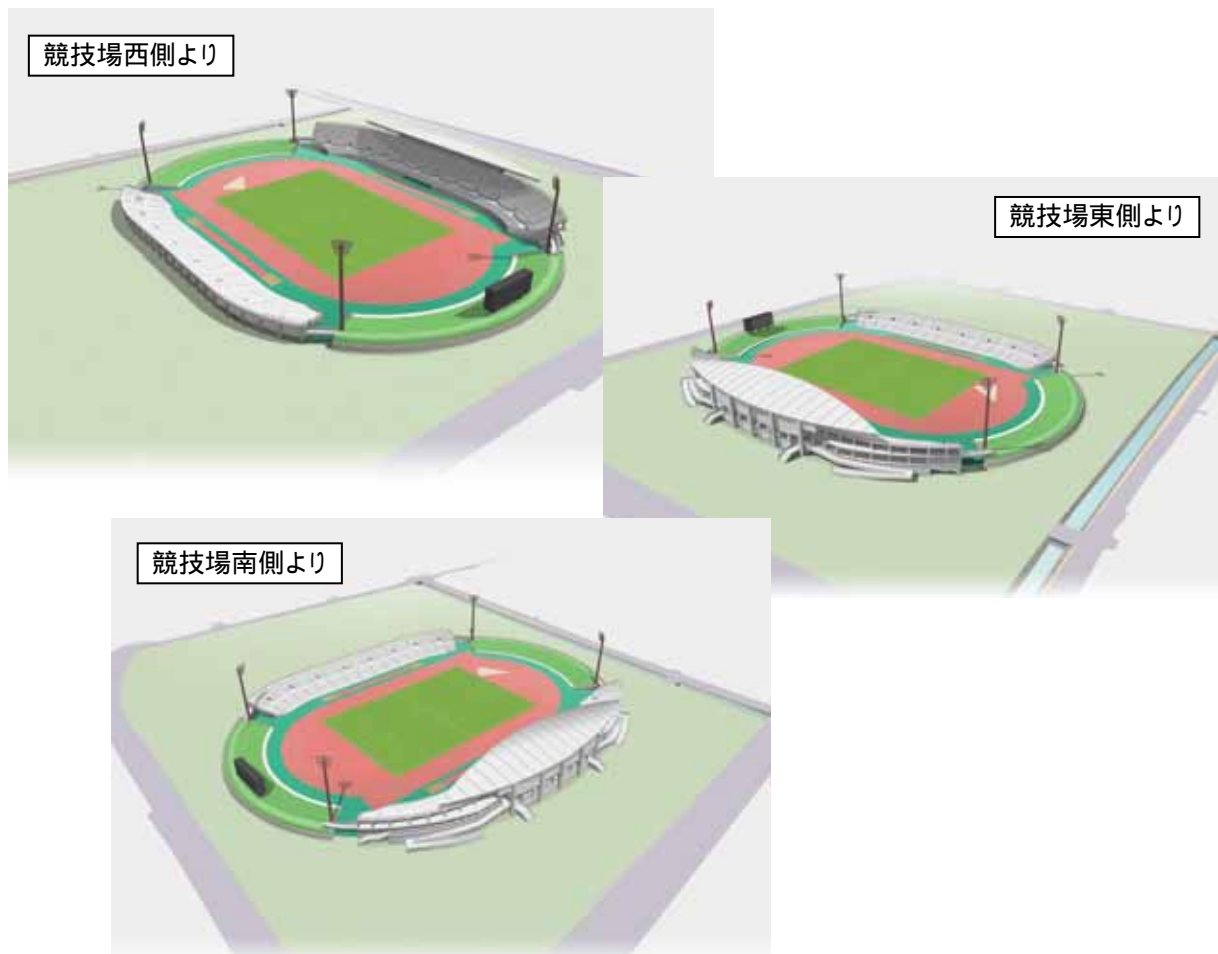
(4) 省エネルギー、環境保全に配慮した競技場

省エネルギー化に努め、環境に優しい整備を行います。

周囲には多くの緑を配置し、豊かな環境を創造します。

4 計画概要

(1) イメージパース



(2) 整備のポイント

【スタンド・フィールド等の機能充実】

収容人員	トラック・フィールド
<ul style="list-style-type: none"> ・全体の収容人員は、大規模な大会も開催できるよう2万人程度確保します。 ・全体収容人員2万人のうち、1万人以上を個席とし、Jリーグ(J2クラス)を誘致可能とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競走路は既存の8レーンから9レーンに改築します。
諸 室	附帯設備
<ul style="list-style-type: none"> ・メインスタンド及びバックスタンド下には、日本陸連第1種公認規定等に基づく雨天走路や、ウェイトトレーニング室などの必要な諸室を確保します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観る楽しみをより大きく感じられる情報伝達施設として、大型映像装置を整備します。 ・夜間の大会開催等に対応できる照明施設(照度1500Lx)を整備します。

(3) 施設内容

スタンド	収容人員	約20,000 人	
	メインスタンド	あわせて 約12,000席以上 (60席以上)	個席
	バックスタンド		
	サイドスタンド	約 8,000席	芝生席
	フィールド仕様	400m×9レーン、全天候舗装(トラック・フィールド)	
附帯設備 (特殊設備)	電光掲示板	大型映像装置設置	
	照明設備	照度1,500Lx確保	

スタンド席数の()内は、車いす優先席の数

(4) 主要諸室

選手更衣室、シャワー室	会議室、管理事務所、スポーツ資料室
ウェイトトレーニング室	大型映像装置操作室、写真判定室
雨天走路	医務室 等
情報処理室	

5 概算事業費(主競技場)

約80億円

6 整備スケジュール

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
基本計画	設 計		解体 工 事	改 築 工 事			山口国体 開催